

事業名	西之表市史編さん事業
-----	------------

総事業費	2,102 千円
------	----------

## ① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	伝統文化・民俗芸能の保存と活用

## ② 実施 (Do)

事業の意図	郷土の歴史を知り、本市の歴史文化や文化財、自然に対する誇りと愛着を深める。	
事業の実績 と成果	取組内容	令和6年3月に発刊した『西之表市史』の一般販売を開始した。 編集委員会を2回、編さん委員会を1回開催し、市史編さんの報告と、ダイジェスト版作成に向けたスケジュール等を確認した。 「『西之表市史見どころ講演会』」を開催し、第1部では各部会長に市史の見どころを語っていただき、第2部では「『西之表市史』の発刊から見る、西之表市の未来」をテーマにパネルディスカッションをしていただいた。
	成果	『西之表市史』は年度末時点で、196部の販売があった。 ダイジェスト版作成に向けたスケジュールを確認することができた。 「『西之表市史見どころ講演会』」では75名の来場者があり、西之表市の歴史・文化の豊かさを多くの人に伝えることができた。

## ③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	西之表市の歴史・文化をもっと多くの方に知っていただくために『西之表市史』の販売促進を行う必要がある。 ダイジェスト版の令和7年度未発刊に向け、(株)ぎょうせいとの打合せや再編交付金の申請等、遺漏のないよう行う必要がある。 編集委員会で編集委員等が来島する際、市民向けの講演会を開催し、より多くの人に西之表市の歴史・文化を広めていく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	市史については専門性が高いことから、ダイジェスト版を作成し広く市民に興味をもってもらう取組が必要である。 あわせて、編集に携わっていただいた編集委員等の意見もつかいがいながら、活用の幅を広げる取組が必要である。

## ④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	各種調整を行いながら、年度末のダイジェスト版刊行に取り組む。 西之表市の歴史・文化を広めるため、講演会を開催する。
------------	--

事業名	歴史文化活用事業
-----	----------

総事業費	2,737 千円
------	----------

### ① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	伝統文化・民俗芸能の保存と活用

### ② 実施 (Do)

事業の意図	本市が有する歴史文化資源の魅力を知ってもらう。	
事業の実績 と成果	取組内容	地域振興推進事業を活用し、西村天囚没後100年記念事業を実施した。企画展示、シンポジウム、記念冊子作成の3事業を展開し、郷土が育んだ偉人の顕彰を行った。
	成果	①企画展は期間中5千人を超える来館者があり、島内島外問わず、多くの人に西村天囚を知ってもらうことができた。また、「懐徳堂」創立300年事業も開催されていたため、西之表市と大阪大学総合学術博物館において相互に記念事業の周知をすることができた。 シンポジウム…市内の他イベントと重なったこともあり、来場者数は50名にとどまった。講演録を作成し、市内小中学校を始めとした関係機関等に配布を行い、当日来場できなかった人へも西村天囚を知ってもらうきっかけ作りをすることができた。 ③石碑小冊子…西村天囚が撰文した「鉄砲伝来紀功碑」「豊山前田先生紀徳碑」「賢母遺蹟碑」「力士西ノ海報恩碑」を原文、書き下し文、現代語訳をつけて解説したものを発刊した。市内小中学校を始めとした関係機関等に配布し、残部は企画展開催期間に鉄砲館において配布した。

### ③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	記念事業で終わりとするのではなく、継続して市民へ郷土の歴史・文化に愛着を持ってもらうための事業を展開する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	西村天囚については、産官学が協力し、資料収集・整理、報告書作成、市民報告まで、郷土の偉人として将来に伝承できる成果を残せた。引き続き、市民へ郷土の歴史・文化に愛着を持ってもらうための事業を展開する必要がある。

### ④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	本市の歴史文化資源を活用した講演会を開催する。
------------	-------------------------

#### 【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	西村天囚没後100年記念シンポジウムの様子

事業名	ふるさと歴史散歩看板整備事業
-----	----------------

総事業費	880 千円
------	--------

### ① 計画 (Plan)

長期振興計画の位置づけ	施策名	芸術文化・文化財保護の充実
	基本事業名	伝統文化・民俗芸能の保存と活用

### ② 実施 (Do)

事業の意図	身近な地域の歴史を伝え、郷土に誇りをもたせる。また、文化財を観光ツールとして活用し、本市の文化財の普及啓発を図る	
事業の実績と成果	取組内容	既存の歴史散歩看板の現状調査。製作看板の選定。看板原稿の作成、レイアウト。看板原稿校正。看板製作設置業務委託契約。看板設置、検査。
	成果	安城校区・立山校区・古田校区に合計25基の看板を設置することができた。

### ③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	令和6年度(2024年度)にて事業完了
評価結果の根拠及び今後の課題 (担当課長記入)	当初の計画どおり看板の製作設置を行うことができた。看板の更新(建替え)は令和6年度で完了し、各校区に設置した「ふるさと歴史散歩」看板は全てアルミ複合板となる。課題である看板の活用については、看板の多言語化事業と連動しながら引き続き市HP・広報誌・SNSなどで周知し、学校・地域・観光協会など関係機関と連携しながら利用の促進を図る。看板の更新は平成27年度から実施しており、初期のものは設置後9年が経過することから看板の状態を把握しながら、板面の劣化が進んでいるものは、板面の張り替え作業が必要となる。

### ④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	令和6年度(2024年度)にて事業完了
------------	---------------------

#### 【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	設置した看板